

父 母

インタビュー

「父母との集い」は、ご子息・ご息女が通う大学について知ることができる機会です。大学の概要をまとめた「全体会」や、学科の学びや就職について聞くことができる「学科説明会」、各種相談、学食体験、在学生によるキャンパスツアーなど、多彩なプログラムをご用意しています。下記のインタビュー記事は、2023年11月の「父母との集い」に出席された保護者の方にお話を伺ってまとめたものです。ご協力ありがとうございました。



疑問のほとんどが
解決できた一日。

1 工学部
電気電子システム工学科1年生のお母様

「父母との集い」の全体会、学科説明会、個別面談に参加しました。全体会の説明はともこまやかで、個別面談で聞いてみようと思っていた疑問のほとんどが解決してしまったほどです。学科説明会では、電気電子システム工学科で獲得した専門性を社会で活かせる幅が思ったよりずっと広いことがわかりました。家族が電気関係の会社に勤めていたので、電気に携わる職業は知っているつもりでしたが、卒業生の多彩な就職実績を見て考えを改めました。個別面談では、成績については心配ないと教えていただき、胸を撫でおろしています。ただ、大学は高校までの学びとは異なり、自ら課題を見つけて解決することが求められるため、息子はまだ戸惑っている様子です。そのことを相談すると、先生によっては質問を受け付ける曜日を研究室に貼り出して対応されているとのこと。ぜひ活用するようにと、息子に促してみたいと思います。

2

経営情報学部
経営総合学科2年生のご両親

学内の散策が楽しい キャンパスツアー。

今年の「父母との集い」は、キャンパスツアーを目当てに参加しました。実は、キャンパスツアーには昨年も参加しており、グラウンドや図書館、カフェなどを見学しました。その際に案内してくださったツアースタッフの学生さんから、「ツアーのコースは案内役ごとに異なる」という情報をいただきましたので、今年はキャンパスの別の顔が見られるのではないかと期待しています。自然豊かなキャンパス内を歩いていると、施設の充実ぶりが伝わってきて、実に立派な大学だと感じます。わが家から中部大学まで、息子は毎日バイクで15分程度かけて通学し、講義が終わるとすぐに帰ってきてしまいます。せっかく総合大学に入学したのですから、他学部の学生と交流したり、サークル活動に励んだりして、もっとキャンパスライフを楽しんでほしいのですが。幸い、成績には問題がないので、あまり口うるさく言わないように気をつけています。

3

理工学部
数理・物理サイエンス学科1年生のご両親

熱意ある指導方針に 感心しきりです。

数理・物理サイエンス学科の学科説明会に参加し、新設学科ならではの意欲的な教育・指導方針について知ることができました。他学科と比べて入学定員数が少なく、担任制が採用されているなど、サポート体制の整った環境だと思えます。息子からも、すでに担任の先生との面談があつたと聞きました。高校の数学教師を目指している息子は、1年生の後期から教職課程の講義が増えて、毎日忙しそうにしています。教員を志望する同級生は多く、励まし合う仲間もできた様子。教員免許を無事に取得できても、教師としての就職は狭き門だからと、腹を据えて取り組むことに決めたとようです。彼の人生でもっとも頑張つて勉強しているのではないのでしょうか。今日は、息子が通っている大学の雰囲気を感じることができて満足です。学食では、息子おすすめの唐揚げ定食をいただきました。家に帰って報告するのが楽しみです。

4

工学部
応用化学科2年生のお父様

研究職を視野に入れ、 大学院進学を検討。

父親の私自身、中部大学の工学部と共同研究をさせていただいたことがあります。入社数年が経った頃で、ずいぶん昔の話です。息子も私と同じように根っからの理系で、応用化学科で学んでいます。少し気がかりなのは卒業後の進路です。息子が将来をどのように考えているのか知りたいと思い、昨年引き続き個別面談に参加しました。息子は、親にはなかなか言えない本音を先生方には打ち明けられる様子です。昨年の個別面談では、大学院進学も視野に入れてると知って驚きました。今回も、個別面談を担当される先生があらかじめ息子にヒアリングしてくださっており、間接的に彼の気持ちを聞くことができました。この先、もし企業の研究職を志望するならば、大学院進学を早めに関心を持ってほしいですね。ずっと勉強を続ける覚悟も必要です。心からやりたいことができる研究室を見つけて、この先も前向きに学んでほしいと願っています。

5

工学部
宇宙航空理工学科2年生のご両親

多彩な学びの機会を 親も知っておきたい。

1年生春学期の成績評価が良かったことで少し気の緩んだ息子は、その後の勉強がはかどりません。大幅に成績を落とし、さすがに「これは、まずい」と気づいたようです。本腰を入れて学ぶ気になつてくれて、ホッとしました。そもそもは文系科目の方が得意な息子が理系の進路選択をしたのは、理系学部で学んだ父親の背中を追いかけたという気持ちがあつたからだと思います。簡単に単位が修得できる学部ではないことが、よくわかつたのではないのでしょうか。親元にいる大学時代に、できるだけサポートしてあげたいと考えています。今日の個別面談では、主に大学院進学について、お話を伺いました。一度は海外で学ぶことも良い経験だと思ひ、留学制度についても教えていただきました。中部大学は、学びのチャンスが豊富に用意されている大学ですね。子どもに参加を促すことができるように、親が情報を共有できる場がもっとあるとうれしいです。

面白そうなテーマに 興味が湧きました。

大学について知りたくて参加しましたが、「父母との集い」は、学食体験や学内見学ができるのももちろん、学科について詳しい話を聞けるのが良いですね。学科説明会での先生方の話を聞いて、きちんと勉強したら楽しそうだなと感じ、私自身が講義を聞いてみたいと思ったほどです。また、来年からゼミが始まるということで、とても面白そうなテーマを研究されている先生がいらっしゃるだったので、きちんと話を聞いてきなさいよと息子には伝えたいです。最近、息子も就職ガイダンスに参加しているようで、どのような会社に就職するのかなと思いを巡らせながら、時機が来れば、社会人の先輩としてアドバイスをしたいと思っています。後援会報の「信頼」が夏に届きました。知っている企業名が掲載されていたので就活体験のページは読みましたが、ほかのページもためになる情報がありそうです。次号が届いたらしっかりと読んでみようと思います。

環境を存分に活用して 充実した4年間を。

息子が4年間お世話になる大学について知りたい、自分の目で中部大学を見てみたいと思い参加しました。自身の勉強にもなり、足を運んで良かったです。キャンパスツアーでは学生さんの説明や対応が良く、質問にも丁寧に答えてくださり、おもてなしがしっかりしていて感心しました。学内は設備が充実していて至れり尽くせりですね。図書館では映画も見られるし、温水プールがあり、グラウンドも立派。クラブハウスには洗濯機やシャワーまで完備とのこと。学生さんが「寝るところ以外は揃う」と言っていました(笑)。就職はまだ先のことで、本人も考えていないと思いますが、何か資格は取ってみたいのが本音です。本人のやる気次第で強要しても仕方ありませんが、サポートも充実していますし、いろいろな人の協力で取得しやすい環境だと思いますので使わない手はありません。環境は申し分ないので、親としては活用してほしいです。

息子の成長の背景を 理解できました。

「父母との集い」では、いろいろな学部が一つのキャンパスにある強みや総合大学のメリット、専門的な学びについて聞くことができました。特に、学科説明会での話を聞いて、息子のメディアに対する反応や発言が、大学の授業から影響を受けていたんだなとわかりました。普段の生活の背景にはこうした学びがあつたのだと息子の成長や変化を知ることができ、良い大学に通うことができたと思えましたね。大学では自分でやりたいことを見つけ、学んだことを活かして社会人になってほしいです。建学の精神、「あてになる人間」はいい言葉です。私自身が営業職として、「あなたでよかつた」と声をかけてもらえる喜びを感じているので、「あなただから」と言ってもらえるような魅力のある人間に育ってくれたらと思っています。今日は、大学生活が楽しいと話す息子からの声だけでなく、親目線で直接見て聞いていろいろ知ることができました。

今日聞いた情報を 息子と共有します。

大学の授業の内容や雰囲気を知りたくて参加しました。初めて教室にも入ることができ、先生の話を聞きやすい広さだと感じました。今日聞けた良かった話は就職のこと。就職先は病院と聞いていましたが、意外とハードルが高く、企業という方向性もあることを知り、家に帰ってから息子と話す情報を得ることができました。私が医療従事者であることから、息子には何か資格を取ってほしいという思いがありました。息子は入学時、コミュニケーションはあまり必要ない学科と聞いていたらしいですが、もちろんコミュニケーションは必要不可欠。医療系の学科に入ったからには、思いやりを持っていろいろな人と関わり合って学んでほしいです。大学生ですから一人前の大人として接しようと心がけ、わからないことがあれば手助けするスタンスでいます。毎年、「父母との集い」が開催されることもわかりましたので、来年も参加しようと思います。